



絵本のまち板橋

講演会シリーズ

世界の書棚から

第14回 オランダの絵本と読書文化

2023年4月22日（土）15:00～16:30

講師：ラウケン 朱子氏（オランダ文学プロジェクト・アドバイザー）

司会：松岡 希代子（板橋区立美術館長）

会場：板橋区立中央図書館 1階図書館ホール

（板橋区常盤台 4-3-1）

定員：30名（事前申込・先着順）

オランダはどのような国かご存じでしょうか。チューリップや風車を思い浮かべるでしょう。

今回は、日本と4世紀にわたる交流を持つオランダについて、読書文化と絵本を通してご紹介。代表的な作家とイラストレーター、日本語への翻訳作品、そして最近オランダで読まれている本の紹介を交えつつ、オランダの児童書のトレンドをお話しいたします。



（左）ルース・リップハーゲン／作『Coco kan het!（ココはできる！）』（Gottmer Haarlem）

（右）ベッテ・ウェステラ／作、シルヴィア・ウェーフェ／絵『Uit elkaar（別れた）』（Gottmer Haarlem）

■参加申込方法

4月11日（火）9時より以下のサイトより申込受付開始します（先着順）。

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/library/oshirase/2000707.html>

■問い合わせ 板橋区立中央図書館 電話 03-6281-0291



主催 板橋区立美術館・板橋区立中央図書館

後援 オランダ王国大使館

